



①日干が( 辛 )なので、( 宝石 )のような人。  
 ( 未の月 )生まれなので、( 熱い石 )。  
 ( 熱い石 )には( 水 )が必要。  
 命式に( 壬 )は ある / ( ない ) ので  
 ( 運気で巡ってきた時に開運する人 )。  
 月支元命は( 偏官 )。  
 ( 夏の宝石 )から生まれた( 偏官 )だから  
 ( 短気、せっかち、スピード重視 )な特徴がある。

②出来事があった時の運気をみる  
 ( 占いを学んで手に職をつけようと )  
 したのは( 2020 )年。  
 ( 2020 )年の干支は( 庚子 )。  
 日干の( 辛 )と流年運の干の関係は( 劫財 )。  
 さらに( 子と、命式にもともと持っている辰と申が三合従うになり、  
 まわりからすすめられる、やらなきゃいけない状況になる  
 三合水局の位置は食傷星、食傷星はうみだす、つくる )。

だから( 新しい活動を始め、ゼロからうみだす、  
 自分のやりたいことに気付かされる )になった。

③これからどうしていけばいいか？  
 大運を見ると今、( 劫財 )の10年間。  
 季節は( 木 )運の30年。  
 日干( 辛 )にとって( 木 )運は( 木を切って実力を  
 発揮していく )な時期。  
 大運で巡ってきている干支は( 庚寅 )。  
 日干との関係を見ると( ハンマーやドリルで金を掘ったり、  
 宝石を研磨する、磨かれる )ような状況。  
 大運で巡ってきている支は( 寅 )。  
 ( 寅 )は( 伸びる、万物が一斉に芽を出した状況、  
 スピード感、勢い )な星。  
 つまり( 自己研鑽、気の合う仲間と関わることで磨かれる、  
 新しいスタートを切る )していくと良い。